

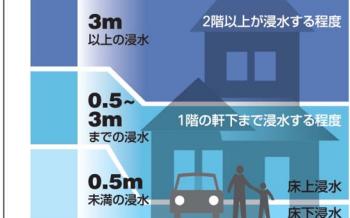
# 浸水深マップ

さぬみついけ  
実光池

## 避難経路の安全性

- 特に危険な区域 (ため池堤防)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 通行は危険
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 通行には注意が必要

## 浸水の深さ



このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために実光池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

この地図では、浸水の深さを示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

## ため池決壊と同時に発生するおそれがある灾害

- 土砂災害(土石流)
- 土砂災害危険箇所

## 凡例

- 避難所(建物)
- 避難所(敷地)
- 防災行政無線(スピーカー)

いざという時に備えて、あなたの家から避難所までの経路や、災害時に危険となる箇所を確認しましょう。避難勧告などが発令された場合や、身の危険を感じたら、この地図を参考にすみやかに避難してください。

## 防災メモ

あなたの家で予想される浸水の深さはどれくらいですか?

3m以上     0.5~3mまで     0.5m未満

ため池決壊のときに避難する場所を決めておきましょう。

### 命を守るために

#### 一時的に避難する場所※1

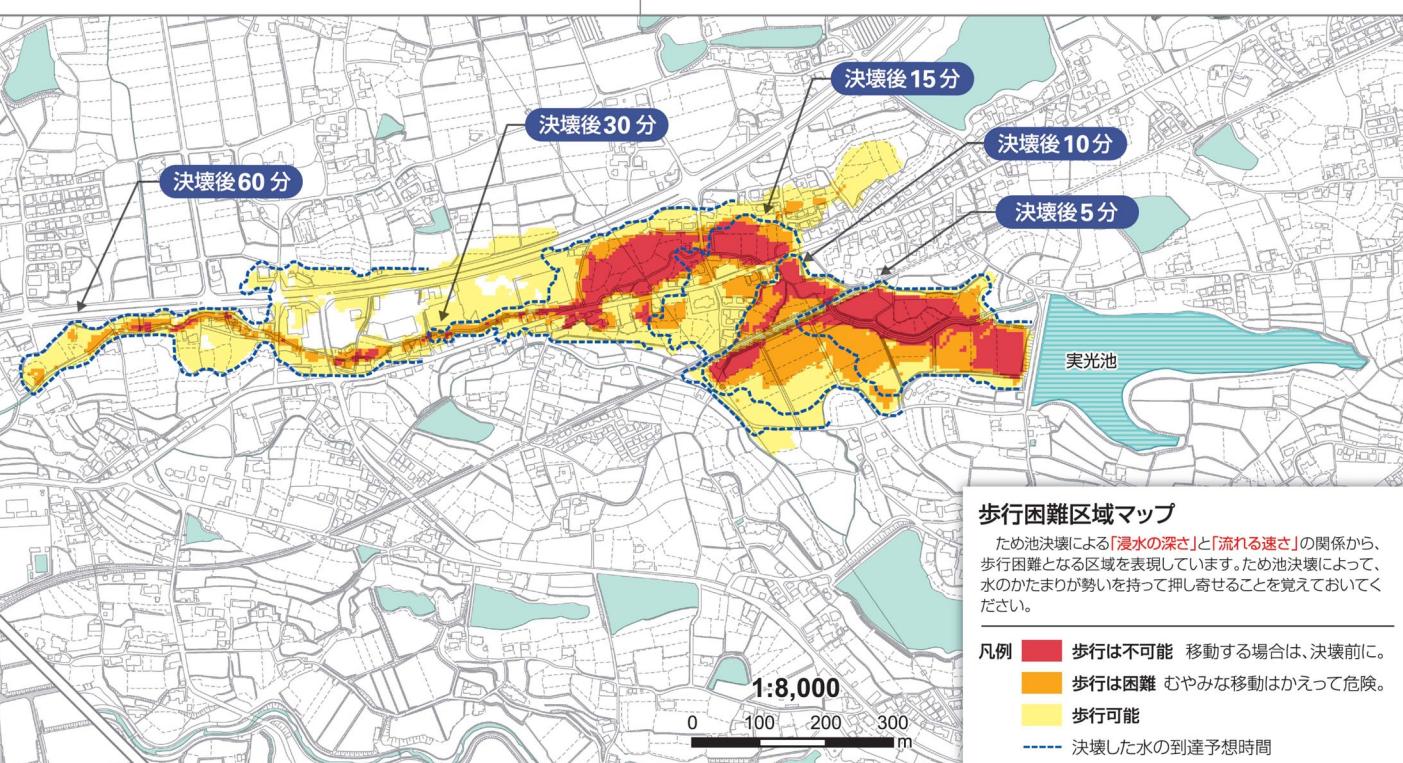
(例: 近くの○○ビル、自宅2階)

#### 避難所※2

(例: ○○小学校)

※1 緊急的に自身の身を守るために避難する場所で、あらかじめ自主防災組織や町内会などで話し合って決めておきます。

※2 自宅が被害を受けたり被害を受ける恐れがある場合に避難する場所で、小学校等が指定されています。



## 歩行困難区域マップ

ため池決壊による「浸水の深さ」と「流れる速さ」の関係から、歩行困難となる区域を表現しています。ため池決壊によって、水のかたまりが勢いを持って押し寄せることを覚えておいてください。

- 歩行は不可能 移動する場合は、決壊前に。
  - 歩行は困難 むやみな移動はかえって危険。
  - 歩行可能
- 決壊した水の到達予想時間

